

2024年
新6年志望校別特訓説明会

白陵・岡山白陵特訓

日能研関西

■ 白陵中学校概要

◆ アクセス ◆

学校法人三木学園

白陵中学校・高等学校

〒676-0827

兵庫県高砂市阿弥陀町阿弥陀 2260

○JR 曾根駅から徒歩約 15 分



◆ 教育方針 ◆

<校訓校是>

規律ある生活を送る中で高い教養を身につけさせ、国際社会のリーダーを育成する。

「教養と節度」を基本として、生徒の可能性を信じ、生徒の自己実現をサポートする。

・ 研究と訓練

自分で調べ、考え、探求する力と何度も繰り返すことにより基礎的な力をつけさせる

・ 独立不羈（どくりつふき）

周囲に流されず、自分の信念・責任感を持って自主自立する力をつけさせる

・ 正明闊達（せいめいかつたつ）

こだわりを持たず、明るく正しく、元気に生き活きとした人間を追求する

<教育の方針>

1. 少数定員制により指導の徹底を期する。
2. 1 日の授業時間は 1 時限 60 分 6 回(月曜日を除く) とし、学習効果の向上をはかる。
3. 国語・数学・外国語に重点をおく。 ※ 体育には柔道を必修として取り入れる。
4. 中学・高校 6 か年の一貫した教育により、高度な知識の習得と学力の充実につとめる。
5. 寄宿舎を持つ学校として、全人教育推進を期したいと考えている。
6. 日常生活における「躰」を重視し、責任を自覚して、節度ある行動をとるように指導する。
7. 健康の増進と安全な生活を心がけるようにする。

■ 白陵中学校 生徒募集要項（2025年度）

	前期			後期		
募集人員	175 名(男・女)			若干名(男・女)		
試験科目	国語	算数	理科	国語	算数	面接 20 点
試験時間	70 分	70 分	70 分	60 分	60 分	
配点	120 点	100 点	100 点	100 点	100 点	
出願方法 出願期間	W e b 出願 令 6 年 12 月 21 日(土)午前 9 時～ 令和 7 年 1 月 9 日(木)午後 11 時 59 分			W e b 出願 前期と同じ期間と、 令和 7 年 1 月 19 日(日)正午～ 令和 7 年 1 月 20 日(月)正午		
試験期日	令和 7 年 1 月 18 日(土)			令和 7 年 1 月 21 日(火)		
合格発表	令和 7 年 1 月 19 日(日)10 時 HP			令和 7 年 1 月 22 日(水)10 時 HP		
出願費	受験料 20,000 円			受験料 20,000 円		
入学金	150,000 円			150,000 円		

■ 白陵中学校 中学入試データ

前期

年度	平均点			合格 最低点	募集人員	志願者数	合格者数	競争率
	国語	算数	理科					
R6	68.9	68.1	66.5	200	175	365	204	2.1
R5	65.2	55.6	60.3	181	175	406	202	2.3
R4	68.1	66.6	59.1	192	175	364	200	2.1

※倍率は小数点第 2 位を四捨五入

後期

年度	平均点			合格 最低点	募集人 員	志願者数	合格者 数	競争率
	国語	算数	面接					
R6	51.3	43.2	19.9	132	若干名	178	37	4.8
R5	50.6	34.3	19.6	117	若干名	164	30	5.5
R4	47.7	32.7	19.4	112	若干名	152	31	4.9

※倍率は小数点第 2 位を四捨五入

	2022年度	2023年度	2024年度	分析と対策
	①語句 〔同音異義語、敬語表現、ことわざ、慣用句、旧暦と節気〕 ②論説文 〔漢字の書き、選択肢、具体化の記述、空欄補充、内容の把握〕 ③物語文 〔慣用句、選択肢、心情の記述、理由の記述、具体化の記述、暗示的な内容の記述〕	①語句 〔四字熟語、慣用句、俳句の季節、言葉の意味、主語と述語、具体化の記述〕 ②論説文 〔漢字の書き取り、具体化の記述、選択肢、要旨の記述、内容の把握〕 ③物語文 〔漢字の書き取り、空欄補充、理由の記述、具体化の記述、選択肢、心情の記述〕	①語句 〔四字熟語、慣用句、熟語の組み立て、ことわざ、敬語、慣用表現、論理展開〕 ②論説文 〔漢字の書き取り、空欄補充、選択肢、具体例、抜き出し、理由の記述、具体化の記述〕 ③物語文 〔漢字の書き取り、空欄補充、心情の記述、具体化の記述、理由の記述、選択肢、抜き出し、内容理解〕	昨年度に引き続き、語句の独立問題、説明的文章と物語文の計3題構成での出題であった。語句の出題は基本的な知識内容を問うものが中心で幅広い知識が要求されている。文章題については、記述重視の傾向に変化はなく、しっかりと根拠を見つけ出して解答の大筋をつかんたうえで取り組むことが要求される。文章の内容をしっかりと読み読解力、設問の指示に合わせてまとめる記述力の養成が合格には欠かせない。一つの問題にこだわらずきらない柔軟な時間配分を意識し、漢字の書き取りや語句、文章の空欄補充など、早く取り組んで得点に結び付けておきたい。
国語	①計算2、逆算1、仕事算1、四捨五入1 ②角度1、面積3 ③速さ(図形上の点の移動) ④数の性質(倍数の分布) ⑤立体図形(水位) ⑥立体図形(切断、展開図)	①計算2、逆算1、数の性質1、割合1 ②体積1、角度2、相似比1、面積2 ③場合の数(となりに移動する点) ④割合(濃度) ⑤速さ(旅人算) ⑥立体図形(立体の表面および内部を移動する点の軌跡)	①計算1、逆算2、速さ2 ②角度1、面積2、面積比1 ③場合の数(マス目の移動) ④立体図形(水位) ⑤規則性(ままこだて) ⑥立体図形(切断と表面積)	①が計算・一行題、②が一行題、③以降が大問で、解答用紙は前半が答えのみで、後半が式・考え方を書くようになっていて、速さ、立体図形、数の性質、文章題からの出題が多い。 答えのみの問題は、ミスなく得点することが大切であり、式・考え方を答える問題では、小問の一部だけでも正解すること、正解できなくても部分点を得ることが大切である。作図をしたり、表に整理したりするなどで、解法を探る作業を答案に残すことが重要で、このような練習を日常的にやっておくことが大切である。
算数	①種子の発芽と栄養分 ②石灰水と重曹の反応 ③コヤマ日時計 ④合わせ鏡の反射	①血液循環と心臓 ②月の見え方 ③水素と酸素の反応 ④てこの重心	①ウエリサの数の変化 ②地震波の伝わり方・緊急地震速報 ③浮力 ④ミヨウバシ(水和物)の溶解度	物理1・化学1・生物1・地学1の計4題。例年と同じ傾向で、どの問題も長い問題文や図、グラフなどから規則性を読み取らなければならぬ。内容も計算、記述、作図とバラエティに富んでいる。 知識だけでは太刀打ちできない。問題の読解力に加え、自分で実験結果をまとめるなど、とにかく手を動かして、規則性を見つけ、作業を行うことが求められる。じっくりと問題に取り組む力と、後回しにするべきかどうか、取捨選択する目を養いたい。
理科				

		2022年度	2023年度	2024年度	分析と対策
白 陵 中 後 期	国 語	①物語文 〔漢字の書き取り、理由の記述、選択肢、心情の記述、人物把握、表現技法〕 ②論説文 〔具体化の記述、自由記述〕	①物語文 〔漢字の書き取り、心情の記述、選択肢、具体化の記述、内容把握〕 ②論説文 〔理由の記述、自由記述〕	①物語文 〔漢字の書き取り、慣用句、言葉の意味、具体化の記述、理由の記述、抜き出し、心情の記述、選択肢、内容理解〕 ②論説文 〔対照的内容の記述、自由記述〕	今年度も昨年度と同様、前期と同じ形式の文章題と、文章を読んだうえで要旨を読み取る問題、自分の考えを記述する問題のみを取り上げた文章題という大問2題構成での出題となった。 前期と同じ形式で出題された大問は、記述を中心に漢字・選択肢を散りばめたもので、前期に比べて様々な読み取りが要求された。もう片方の大問は、いかに要点を読み取れるか、要点に即して自分の考えを記述できるか、ポイントとなっており、要点をどうえらる読解力と自分の身にあてはめる応用するつもりで時間配分を意識して取り組むべきだろう。
	算 数	①平面図形 (面積)、立体図形 (密度の利用) ②場合の数 (順列) ③速さ (坂道を進むときの標高の変化) ④規則性 (マス目と石の動かし方) ⑤場合の数 (ゾロツクを箱に詰める方法)	①計算、規則性、数の性質 ②平面図形の求積、進行グラフと比、作図 ③平面図形 (内接円の半径とグラフ) ④文章題 (仕事算と規則性) ⑤場合の数 (立方体の積み重ね)	①計算、平面図形 (相似) ②平面図形 (図形上の点の移動) ③場合の数 (得点計算) ④割合 (濃度) ⑤立体図形 (球の切断)	大問5題の出題形式は例年通りで、解答用紙はなく、問題用紙の余白に直接記入する形式になっている。式・考え方を書く余白は十分にあるので、きちんと書く必要がある。比較的に易しい問題と難問が入り混じっており出題されているので、易しい問題をしっかりと選んでテキパキと処理をして、残りの問題はじっくりと時間をかけて取り組みたい。思考力・作業力などを要求される、過去に解いたことのないような問題が出題されることもある。このような新傾向の問題に対して、作業を通じて、規則や構造を導き出す力を養っておかなくてはならない。

■ 岡山白陵中学校概要

◆ アクセス ◆

学校法人三木学園

岡山白陵中学校・高等学校

〒709-0715

岡山県赤磐市勢力 588

○JR 山陽本線 熊山駅より南西に徒歩 8 分



◆ 教育方針 ◆

教養と節度そして烈しい真理探究と思索に
貫かれた青春の日々を師弟一体となって送る
小宇宙こそ私達の学園である

少数定員制による行き届いた教育によって、単に学力の向上だけでなく、国際人として通用する人間性豊かな青年を育ててゆくことが、本学園のねらいであります。

社会のめまぐるしい変遷の中で、ややもすれば失いがちになる、人間として大切なもの、それは学問に対する情熱であり、生きていくうえでのたくましさであり、他人に対する思いやりの心です。

本校は、少数精鋭による徹底した英才教育により、これら人間として大切な教養と節度を体得させることを目的として、昭和 51 年に開校いたしました。そして、たくましく未来へ飛躍せんとする若者の修練の場として、師弟一体となり、常に上昇を目指してたゆみない努力を続けております。

毎日の学校生活を通して、将来深遠なる洞察力と、高い学識を持ち、事にあたって責任感と勇猛心ある人材たる基礎を培う場、それが私達の「岡山白陵」です。

■ 岡山白陵中学校 生徒募集要項（2025年度）

募集人員	160 名(男・女)			
試験科目	国語	算数	理科	※社会
試験時間	50 分	50 分	40 分	40 分
配点	100 点	100 点	80 点	80 点
出願方法 出願期間 ※Web 出願 ⇒郵送	Web 登録期間及び出願費納入期間 令和 6 年 12 月 9 日(月)9:00～12 月 16 日(月)23:59 出願書類受理期間 令和 6 年 12 月 9 日(月)～12 月 21 日(土)必着 郵送必着			
試験期日	令和 7 年 1 月 5 日(日)			
合格発表	令和 7 年 1 月 7 日(火)午前 10 時 専用Web サイト			
出願費	受験料 15,000 円(専願予納金 30,000 円)			
入学金	150,000 円			

※3 科(国算理)・4 科(国算理社) 受験を選択可

<専願を希望しない場合の注意事項>

- 願書提出時に「非専願」を選択してください。
- 合格最低点は専願者より 10%程度高くなります。
- 専願を希望しない非専願合格者の入学金納入期限は、令和 7 年 2 月 6 日(木)15:00 です。
期限までに納入しなかった場合は、入学資格を取り消されます。
- 入学金納入期限以降は、非専願合格者も専願合格者と同様に扱います。

■ 岡山白陵中学校 中学入試データ

◆ 入試状況 ◆

年 度	募集人数	専 願	非専願	合 計	専願合格 最低点	非専願合格 最低点
令和 6 年	160 (男・女)	80 (35)	593 (207)	673 (242)	165	180
令和 5 年	160 (男・女)	79 (38)	684 (255)	763 (293)	155	170
令和 4 年	160 (男・女)	76 (33)	741 (241)	817 (274)	130	145
令和 3 年	160 (男・女)	118 (59)	733 (256)	851 (315)	125	140

() 内女子

※令和 5 年以降の合格最低点は、4 科合計(360 点満点)で。3 科生は 3 科合計の 9/7 倍で判定します。

	2022年度	2023年度	2024年度	分析と対策
国語	①語句 [漢字の書き取り、誤文訂正] ②物語文 [選択肢、具体化の記述、空欄補充の記述、ぬき出し] ③論説文 [ぬき出し、選択肢、具体化の記述、空欄補充、内容一致]	①語句 [漢字の書き取り、文章の内容把握、慣用句の使い方] ②物語文 [空欄補充、具体化の記述、選択肢、心情の記述] ③論説文 [空欄補充、慣用句、ぬき出し、具体化の記述、選択肢]	①語句 [漢字の書き取り、慣用句の使い方] ②物語文 [登場人物、選択肢、具体化の記述、ぬき出し、内容把握] ③説明文 [空欄補充、ぬき出し、具体化の記述、選択肢、理由の記述]	漢字・語句の独立問題、物語文、説明的文章の三題構成は例年通り。昨年より記述量が増え、読解内で別の部分を引き用いるなど、一つ一つの文面に要する時間に注意が必要な出題であった。物語文問題の出題は、短文の空欄にあてはまらない言葉を当てた出題であった。近年は読解力の活用に重きを当てた出題が目立つが、どの單元から出題されてもいまいいように内容をしっかりと読み取ったうえで解答することをお求められる。また、読解の中で文章内容を説明するようになり下すかれた内容をすり合わせて書くことが大切である。問題数は例年通りなので、時間配分を意識した着実な読解を心がけたい。
算数	①計算1題、一行題 (通比、売買、平均、場合の数、面積、回転体の体積) ②文章題 (のべ人数)、平面図形 (面積) ③速さ (坂道) ④場合の数 (マス目に数字を入れる方法) ⑤立体図形 (水位)	①計算1題、逆算1題、一行題 (割合、場合の数、面積、体積) ②平面図形 (面積、図形の移動) 文章題 (おも玉の分配) ③速さ (旅人算) ④場合の数 (マス目に○×を入れる方法) ⑤文章題 (ニムトゲーム)	①計算1題、逆算1題、一行題 (割合、速さ、弧の長さ、体積) ②文章題 (データの活用) 平面図形 (面積、面積からの逆算) ③立体図形 (水位) ④場合の数 (マス目に数字を入れる方法) ⑤速さ (図形上の点の移動)	①は計算と一行題、②は①より難度が高い一行題、③以降は大問の形式。①②は答えだけを書かなくてもよい。③以降は、式・考え方が要求される。一行題は幅広い単元から出題されるので、基本事項をしっかりと確認しておきたい。①～③までは比較的解きやすい問題であるが、難問が少し混ざっていることもある。後半の大問は難度が高いことが多いが、比較的解きやすい小問から始まることもあるので、時間配分に気を付けて、解きやすいところから順に解き進む習慣を身につけることが重要である。
理科	①ヒトの消化と吸収、タンパク質の分解 ②流水の動き、示準化石となる生き物の条件 ③水溶液の中和、水溶液と金属の反応 ④フレイザーの実験装置による光速の求め方	①植物のつくりと働き、呼吸商の計算 ②ものごとけ方、水の状態変化 ③月の満ち欠け、月の動き、日食と月食 ④速さと時間のグラフ	①昆虫、メダカ、人体、食物連鎖、植物 ②燃焼、気体使知苦 ③電熱線による水の温度上昇 ④フレイザー現象	物理1・化学1・生物1・地学1の計4題。例年、実験や観察に関する出題が多い傾向にある。計算問題は必ずしも条件を整理する難解な問題が出題されている。知識問題は細かいところまで問われるので、確実と身につけておきたい。問題量と難度から考え、時間的な余裕はあまりないだろう。過去問に慣れておき、時間配分を身につけておきたい。計算力は必須なので、問題の条件を整理し、式に落とし込む練習が必要である。
社会		①地理 (日本の地理) ②地理 (アメリカ合衆国に関して) ③歴史 (岡山県の郷土学習から) ④歴史 (明治時代の国家形成) ⑤政治 (参議院議員選挙)	①地理 (日本の地理) ②地理 (中国に関して) ③歴史 (鎌倉・室町・江戸) ④歴史 (明治時代) ⑤地理・歴史・政治融合 (「岡山のと昔、これから」というテーマ)	地理と歴史の出題が多く、政治に関するものはほとんどなかった。岡山県にちなむ問題が出題されやすく、特徴性の高いテーマ (時事に関するものを) をもとに出題される。出題形式は、地図や表、グラフ、図版が多用され、短文記述が少なからず出題される。また、与えられた資料を読み取らせる問題も出題される。3分程度とも、かなり狭られた問題であり、しっかりと知識や、分析力が求められている。日頃から地図帳や資料集を使った勉強を心がけること。また、地図・ニュースなど時事にも関心を持つておくこと。

■ 特訓概要（今年度版）

◆ 開催校 ◆

姫路校

◆ 受講基準 ◆

「公開模試」の3科目平均偏差が44以上

または、「思考力育成テスト」の3科目平均順位が250位以内

◆ 指導教科 ◆

前期特訓…算数は毎週実施、国語と理科は隔週実施

(例) 1週目：算数・国語 2週目：算数・理科

後期特訓…国語・算数・理科は毎週実施

◆ 一週間のモデルスケジュール ◆

火曜日	木曜日	土曜日	日曜日
国語	理科	算数 社会	学習力育成テスト※ 又は公開模試 白陵・岡白特訓

※ 前期は学習力育成テスト、後期は合格力育成（実践）テスト

（本科クラス）国語 150 分・算数 200 分・理科 150 分・社会 100 分

（本科発展クラス）国語 200 分・算数 250 分・理科 150 分・社会 100 分

◆ 授業時間 ◆

－ 前期 －		－ 後期 －	
09:40～12:20 ※3 科受験生	学習力育成テスト 公開模試	09:45～12:30 ※3 科受験生	合格力育成テスト・合格力実践テスト 公開模試
12:20～12:45	食事休憩	12:30～12:45	食事休憩
12:45～14:25	授業①（100 分）	12:45～14:25	授業①（100 分）
14:35～16:15	授業②（100 分）	14:35～16:15	授業②（100 分）
		16:25～18:05	授業③（100 分）

※ 学習力育成テストや公開模試等のテストは特訓開催校で受験します。

※ 次年度の特訓時間割は変更になる場合があります。

◆ 特訓保護者会 ◆

年2回実施（第1回は4月ごろ、第2回は10月ごろに実施）

第1回保護者会…特訓担当者紹介、特訓指導方針、前期指導内容など。

第2回保護者会…後期指導内容、入試説明、併願校の紹介など。

◆ 特訓カリキュラム ◆ ※過年度分

	回数	国語	算数	理科
前期 (2月～7月)	1	選択肢 (物語文・論説文)	立体図形Ⅰ. 計算と一行題 1	
	2		立体図形Ⅱ. 計算と一行題 2	種子の発芽、水溶液
	3	ぬき出し (物語文・論説文)	立体図形Ⅲ. 計算と一行題 3	
	4		立体図形Ⅳ. 計算と一行題 4	地層岩石、てことばね
	5	具体化の記述 1 (物語文)	数の性質Ⅰ、計算と一行題 5	
	6		数の性質Ⅱ、計算と一行題 6	花のつくり、気体の発生
	7	具体化の記述 2 (論説文)	場合の数Ⅰ、計算と一行題 7	
	8		場合の数Ⅱ、計算と一行題 8	昆虫、ものの燃え方
	9	心情の記述 1 (物語文)	文章題Ⅰ、計算と一行題 9	
	10		文章題Ⅱ、計算と一行題 10	太陽の動き、熱の伝わり方
	11	心情の記述 2 (物語文)	平面図形Ⅰ、計算と一行題 11	
	12		平面図形Ⅱ、計算と一行題 12	星と星座、音
	13	理由の記述 1 (物語文)	平面図形Ⅲ、計算と一行題 13	
	14		平面図形Ⅳ、計算と一行題 14	消化、気象、水溶液
	15	理由の記述 2 (論説文)	平面図形Ⅴ、計算と一行題 15	
	16		平面図形Ⅵ、計算と一行題 16	動物、月の動き、光の反射
	17	主題 (物語文)	速さⅠ、計算と一行題 17	
	18		速さⅡ、計算と一行題 18	天体、気体の発生量、てこ
	19	要旨 (論説文)	速さⅢ、計算と一行題 19	
	20		速さⅣ、計算と一行題 20	血液循環、電流、中和
夏期	1	入試問題演習①	入試問題演習①	
	2		入試問題演習②	物理 1
	3	入試問題演習②	入試問題演習③	
	4		入試問題演習④	化学 1
後期 (9月～1月)	1	具体化 1 (物語)	入試問題演習 1	地学 1 (太陽・月・星)
	2	具体化 2 (随筆・論説)	入試問題演習 2	地学 2 (気象・地層・他)
	3	入試問題演習 1	入試問題演習 3	物理 2 (音・光・運動・熱・他)
	4	理由 1 (物語)	入試問題演習 4	入試問題演習 1
	5	理由 2 (随筆・論説)	入試問題演習 5	物理 3 (力学)
	6	入試問題演習 2	入試問題演習 6	化学 2 (中和反応・他)
	7	心情・細部表現 1 (物語)	入試問題演習 7	化学 3 (気体・燃焼)
	8	心情・細部表現 2 (物語)	入試問題演習 8	入試問題演習 2
	9	入試問題演習 3	入試問題演習 9	入試問題演習 3
	10	主題 (物語)	入試問題演習 10	入試問題演習 4
	11	要旨 (論説)	入試問題演習 11	入試問題演習 5
	12	入試問題演習 4	入試問題演習 12	入試問題演習 6
	13	入試問題演習 5	入試問題演習 13	入試問題演習 7
	14	入試問題演習 6	入試問題演習 14	入試問題演習 8
	15	入試問題演習 7	入試問題演習 15	入試問題演習 9
	16	入試問題演習 8	入試問題演習 16	入試問題演習 10

■ 国語の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

<白陵中学校>

白陵中学の国語の入試問題は、2017年度までは、長文2題構成の100点（60分）でしたが、2018年度入試から、語句独立問題を加えて、大問3題構成の120点（70分）に変更となりました。テスト時間は問題の質や量を考えると時間的には妥当ですが、全体として、記述問題が多く出題されるので、文章読解のスピードに加え、記述をかきあげるスピードも必要になります。大問一の語句は、全範囲から出題されます。大問二は論説文、大問三は物語文で、いずれの文章も記号・抜き出し問題よりも記述問題が中心の構成で、間をよみとり、文章中の手がかりをもとにわかりやすく記述していく技術とスタミナが必要です。

<岡山白陵中学校>

- ・ 50分／100点 ※22年度入試から時間が60分→50分に変更。
- ・ 漢字語句問題1題、文章題2題（物語文・論説文）
- ・ 語句の出題は近年、特異な問題が続いています。全範囲から出題されます。
- ・ 文章題はバランス重視の傾向ですが、近年は字数指定なしの記述が出題される傾向も見られます。空欄補充タイプの記述も多いですので、対策が必要になります。

◆ 前期特訓の内容 ◆

6年生本科教室での使用教材「語句のまとめ」で知識分野の定着を図るとともに、特訓授業では、記述対策を中心とした授業を入試まで徹底的に繰り返し、記述に対する自信をつけてもらえるよう進めていきます。さらには漢字の宿題、家庭学習用読解演習を追加で実施し、知識と演習量の補充をします。

本科授業では、特に白陵を意識することはありませんが、記述を嫌がらず書く努力を続けていくことと、漢字や語句の知識を短文の中でしっかり意識して身につけていくことを心がけてください。

◆ 後期特訓の内容 ◆

前期本科教室に引き続き「語句のまとめ」で知識分野の定着を図るとともに、特訓授業では、白陵・岡山白陵の入試問題をより意識した文章読解を、記述対策を中心として展開してまいります。

また、単元別の学習に加えて、過去問の取り組みを通じて、解法の確立と時間配分など、対応力の強化を図ってまいります。

11月中旬からは、上記目標達成のために、過去問の演習を徹底的に行っていくことで、合格に必要な得点力の向上を目指してまいります。

■ 算数の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

<白陵中学校>

●白陵中学の算数は、2017年度までは、一次40点（40分）、二次60点（50分・午後に実施）でしたが、2018年度入試から一本化されて、100点（70分 ※23年度からは120点）に変更となりました。2017年度までの傾向は下記のようになります。

（一次）計算力重視・解答のみ

以前は、基本的な問題で、白陵を受験する生徒の場合は、40点中、30点以上の得点を取ってきていましたが、15年～17年の3年間を見ると、難度が上がり、ある程度の実力がないと30点以上の得点は難しくなりました。前半部分の基本的な問題でのミスがあると合否に大きく影響してくるので簡単な問題を落とさないように普段のテスト・授業・家庭学習から意識して勉強していく姿勢が必要です。

（二次）式や考え方、作図を要する問題。

例年は4題の出題。まれに、5題の時もありました。図形の作図・調べ上げる問題がよく出題されます。少し難度が高く取れる問題を確実に粘り強く解くことが必要です。もちろん式や考え方、時には理由を書かせるといったものが出されるので、しっかりと書ける練習が必要です。

●18年度以降の入試では、①前半の計算力や基礎学力を問う基本的な問題部分（40点、答のみ）と、②後半の発想力や思考力を試す応用問題部分（80点、記述型 ※22年迄は60点）が融合した形式で出題されています。まさしく、今までの1次の問題数を少し減らし、それに2次の問題をくっつける形の出題形式です。23年入試からは、②の応用問題の配点が20点分増加（計120点満点）になり、各大問ごとの設問数が増え、一部に後期入試並の難問が加わりました。

今後の入試においても、白陵の過去問を中心として練習して、取るべき問題の選び方、解き方を学んで行けば問題ありません。来年の6年生も、前期中は、過去問を解いていく前段階として、各単元のベースを押さえる授業を行っていきます。

<岡山白陵中学校>

- ・50分／100点 ※22年度入試から時間が60分→50分に変更。
- ・一行題と計算の①・②、大問③～⑤の構成が続いており、数年前から前半部分の難度が下がってきています。専願受験者は、①・②を確実に解き、大問については（1）など取れるところを確実に。
- ・一行題の大半は、6年生前期本科テキストの中レベル部分と同等の問題が多いです。ここ数年では見たことのない出題が減り、難易度はそんなに高くありません。※24年入試では新傾向（データの活用）の問題が出題されました。
- ・大問も比較的難度を下げしており、確実に取れる問題も多く含まれています。部分点もあるので少しの考え方でも書いて残しておいておく事をこころがけましょう。

◆ 前期特訓の内容 ◆

本科授業で、しっかりと式や考え方、線分図などを書く努力を心がけてください。また、大切なことは、間違い直しを「分かったつもり」ではなく、しっかり自分の力にしていく努力をすることです。計算練習も時間を決めて取り組み、つまらないミスが出ないようにしていきましょう。来年度も、前期は、単元別の総合問題、後期は過去問演習の形は変わりません。

◆ 後期特訓の内容 ◆

特訓授業では、白陵クラスと岡山白陵クラスとに分かれ、それぞれの学校の過去問演習を行います。本科授業で引き続き単元の定着を図るとともに、特訓授業で入試問題を通してより実践的な問題の見極め・部分点を含めた得点力の向上を目指してまいります。両校とも入試問題に記述部分がありますので、答案をコピーして原本を預かり、採点・添削したうえで次回の特訓時に返却いたします。それを通して時間配分・答案の書き方・部分点の稼ぎ方を指導していきます。

■ 理科の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

<白陵中学校>

白陵中学の理科は、生物・地学・化学・物理の四分野を各一題の出題で、ほぼ均等配点となっています。2017年までは3科均等に100点満点の配点でしたが、2018年度より、国語のみ120点に、2023年には算数も120点に増加され、傾斜配点となっています。それでも、理科は100点の配点があるため、理科の学力が合否に大きく影響してきます。時間は70分で、他のどの学校よりも多くなっています。じっくりと問題文を読み取って臨んでほしい、というメッセージが伝わってきます。問題の読解力が無いと太刀打ちできない問題も増えてきました。

生物では、知識問題も多く出題されますが、実験や観察に関する処理を問う物もかなり出され、慣れておく必要があります。計算問題も出題されますので、暗記単位といって油断しないようにしましょう。地学分野は、原理の理解を必要とされるものが多く、記憶に頼る学習ではなかなか太刀打ちできない物が多く出されます。化学分野と物理分野では、表やグラフをしっかりと処理し、それを元に、しっかりと計算し解答を導き出すとともに、グラフに表すことができるかどうか大きなポイントとなります。

全単元に共通することとしては、理由の記述など文章で書かせる問題も多いことが特徴と言えますから、普段からしっかりと「なぜ」を意識して学習していきましょう。

<岡山白陵中学校>

- ・40分／80点 ※23年度入試から時間が50分→40分に変更。配点も100点→80点に。
 - ・21年度迄は大問5～7題程度の構成（物理・化学・生物・地学から1、2題ずつ）
 - ・22年度（時間が60→50分に変更された）と23年度は大問4題の構成。
 - ・前半は生物・地学の基礎～標準問題、後半に化学・物理の応用問題が出題される年度が多い。
- ただし、年度によっては前半に難度の高い問題が混ざることもある。解けるところからしっかりと解くことが大切。
- ・設問に細かな条件がつけられている場合もあるので、ていねいに読み進める。

◆ 前期特訓の内容 ◆

本科授業では、覚えることを確実に覚えていくことと、どうしてこうなるのかといった理由や原理をしっかりと聞き、身につけていく努力をしていきましょう。ただ、前期中にすべて身につけることは無理があります。夏期講習・後期特訓において何度も繰り返し身につけていけるよう、カリキュラムが組まれていますから、焦らず、その都度一歩ずつ前進していきましょう。

◆ 後期特訓の内容 ◆

特訓授業では、条件を整理する力・計算力の強化・グラフの作図・記述問題の対策の4点を柱に、1点でも多く得点を取るための努力を積み重ねてまいります。白陵・岡山白陵寮校の問題をしっかりと練習していくことで、確実な得点力を身につけることをめざしてまいります。